



住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話 042-361-6319

FAX 042-334-0873

府中市立住吉小学校
校長 木下 和紀
令和7年1月8日
令和6年度 第10号



目標設定を行い、蛇のように粘り強く挑戦しよう！

副校長 進藤 智洋

新しい年、2025年が始まりました。今年巳年、蛇の年です。蛇は知恵と変化の象徴とされています。本校でも、子供たちが新しい知識を吸収し、成長し続けることを願っています。

今年も、子供たちが安心して学び、友達と楽しく過ごせる環境を整えていきます。教職員一同一丸となって、子供たちの成長をサポートして参りますので、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

さて、新春に行われました箱根駅伝での青山学院大学の連覇は、まさに努力とチームワークの結晶でした。選手たちは日々の厳しいトレーニングを積み重ね、個々の力を最大限に発揮しました。特に山下りの6区の野村 昭夢 選手が区間新記録を樹立し、チームのリードを大きく広げました。これにより、青山学院大学は大会新記録でゴールし、総合優勝を果たしました。

この成果は、学校教育にも応用・活用できると考えます。まず、**目標設定の重要性**を教えることができます。選手たちは明確な目標をもち、それに向かって**努力**しました。また、**チームワークの大切さ**も学べます。個々の力だけでなく、チーム全体の連携・協力が勝利に繋がりました。さらに、**継続的な努力と自己管理の重要性**も強調できます。これらの要素を教育に取り入れることで、子供たちの成長を促進し、未来のリーダーを育てることができるでしょう。

青山学院大学の成功は、指導者の役割も大きいです。原 晋 監督は選手一人一人の特性を十分理解し、適切な指導を行いました。これにより、選手たちは自信をもって本番の競技に臨むことができました。私ども教職員も児童一人一人の特性を理解し、適切な指導を行うことを改めて意識して参りたいと思います。

また、青山学院大学の選手たちは、失敗を恐れず**挑戦**し続けました。この姿勢は、子供たちにも大切な教訓となります。失敗を恐れず、粘り強く挑戦し続けることで、成長と成功を手に入れることができるのです。

最後に、青山学院大学の連覇は、地域社会の支援も大きな要因です。地域の応援やサポートが、選手たちのモチベーションを高めました。学校教育でも、保護者や地域社会の協力が、子供たちの成長を支える重要な要素となります。「チーム住吉」として、みんなで子供たちを育てていきましょう。

青山学院大学の箱根駅伝連覇から学ぶことはとても多く、これらの教訓を本校の教育活動に活かすことで、子供たちの未来をより明るいものにしていきます。

新しい一年が、皆様にとって素晴らしいものとなりますように。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



〈オーケストラ鑑賞教室：5年生〉

12月6日（金）、八王子のJ：COMホールでオーケストラ鑑賞教室が行われ、5年生が参加しました。プログラムは迫力ある「カルメン」から始まり、指揮の青島 広志 先生の楽しいお話と丁寧な楽器紹介が続きました。また、リコーダー学習を終えたばかりの「威風堂々」を本格的なオーケストラの生演奏で体験しました。「ハンガリー舞曲」では、本校の児童が飛び入り指揮者として選ばれました。アンコールでは、「ラデツキー行進曲」を手拍子で楽しみました。子供たちからは「時間があっという間に過ぎた」「とても楽しかった」という感想がたくさん聞かれました。

〈奉仕朝会 ～落ち葉拾い～：全校〉

12月12日（木）の朝の時間に、奉仕朝会として全校児童による落ち葉拾いを行いました。色とりどりの落ち葉に季節の変化を感じつつ、一生懸命に作業をする姿に心が温くなりました。短い時間でしたが、大量の落ち葉が集まり、校庭がすっきりとしました。作業をした子供たちも達成感を感じられた行事となりました。当日は平日にもかかわらず、多くの保護者の方にもお手伝いいただきました。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。



〈町探検：2年生〉

生活科「もっと なかよし まちたんけん」では、ライフ中河原店、松月堂、郵便局、交番や住吉文化センターへ8チーム(15班)に分かれて探検しました。付き添いボランティアを快く引き受けてくださった、保護者の皆様、ありがとうございました。

「一見は百聞にしかず」とあるように、実際に見たり、聞いたりする体験によって、子供たちの目は輝き、生き生きとして帰ってきました。その後のまとめでは、グループごとに発表の仕方を考えながら、各々で意欲的にまとめることにつながりました。「今度、自分でも行ってみたい。」「みんなのためにお仕事頑張っているんだ。」という感想もたくさんありました。今回の探検をとおして、学校周辺のお店や公共施設に興味をもってくれたり、考えを深めたりできて、嬉しく感じています。



★「持久走」の取り組みについて

1月29日（水）から2月12日（金）まで、各学年で持久走の取り組みがスタートします。体育の時間や休み時間に体力づくりの一環として行います。持久走は友達と競うのではなく、自分のペースで継続して行うことで体力の向上が期待できる活動です。また、持久走は心肺機能を高めることができるため、風邪の予防にもつながる効果も期待できます。お子さんの健康面等で配慮することがありましたら、担任までご相談ください。なお、大会など発表の場はありませんが、カードなどを使い、自分の頑張りが見える形で進めていきます。ご家庭でもお声掛けいただけると幸いです。また、睡眠、朝食、検温などのお子さんの健康チェックをお願いします。（水筒や汗拭きタオルなど、必要に応じて持たせてください。）

※児童の欠席状況などによって、実施期間の変更がある場合があります。ご了承ください。



〈起震車体験:3年生〉

4、5人一組で起震車に乗り、最大震度7の揺れを体験しました。激しく揺れる起震車の上で、児童たちは必死に倒れまいと柱につかまっていました。この体験を通して、子供たちは改めて地震の怖さを痛感しました。

阪神淡路大震災では、大きな揺れによって多くの家が崩れ、多くの方がケガをしたことを聞き、自分の命を守る避難訓練の大切さを学びました。さらに、学校での避難訓練だけでなく、家に帰ったら倒れてきそうな物や危険な場所を確認することも教えていただきました。ぜひ、これを機にお子さんと一緒に家の中の危険な場所や、外で被災したときの集合場所などを決めていただければと思います。



★「校内書写展」について

1月27日、28日の2日間、校内書写展を開催します。

人数や時間等の制限なくご覧いただけますので、ご都合の良い時間帯にお越しください。

○1月27日(月): 15:00~16:30

○1月28日(火): 15:00~16:30

※保護者の出入り口は児童の昇降口です。

※どの階の作品も鑑賞できます。



冬休みに「書き初め」の練習に進んで取り組んでいる姿が見られたのではないのでしょうか。

学校では、冬休みの練習の成果を生かして、一人一人が落ち着いて手本に向かい、気持ちを集中させながら一文字ごとに丁寧に心をこめて清書を仕上げます。子どもの思いのこもった作品は、どれも力作ぞろいです。その思いをぜひ感じ取っていただければ幸いです。校内書写展では、作品を各教室の廊下に掲示します。